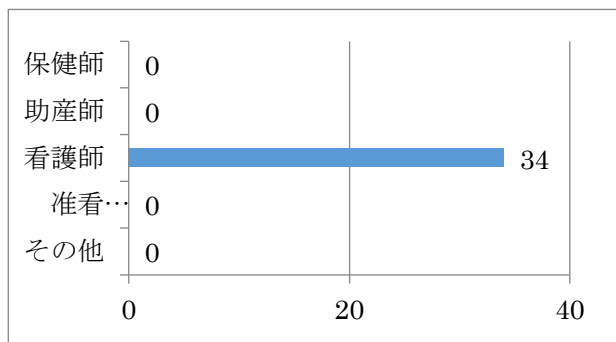


## 看護師職能委員会

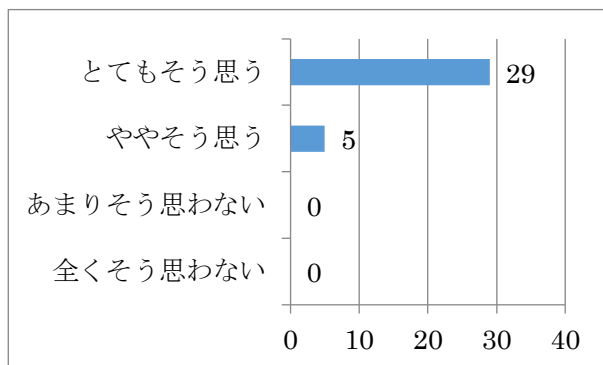
研修名	1) 多施設新人看護師交流会 ～新人同士で悩みを表出しスッキリしよう～	
開催日時	令和5年10月1日(日曜日)	時間 9:30～12:30
受講者数	36名(会員14・非会員22)	定員 40名
ねらい	多施設の新人看護師等と交流することで、お互いの悩みや思いを出し合い、リフレッシュの場とすることができる	
講師	看護師職能委員会	
内容	新人看護師 リフレクション	講義・演習

1. アンケート結果 回答数 34名 回収率 94%

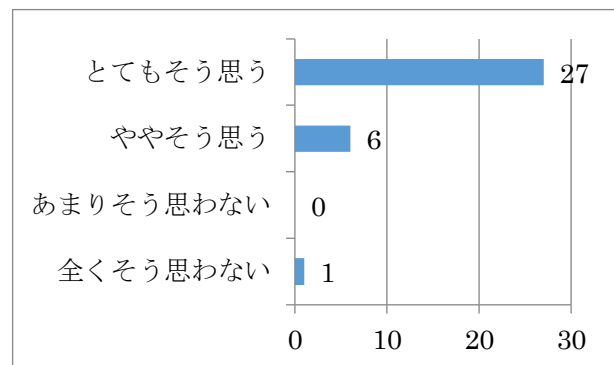
### 1) 職種



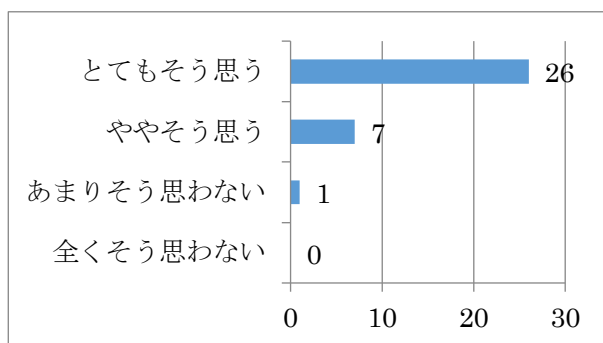
### 2) 研修内容の理解度



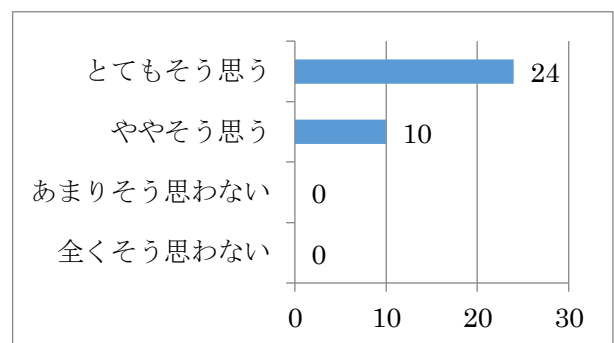
### 3) 参加目的の達成度



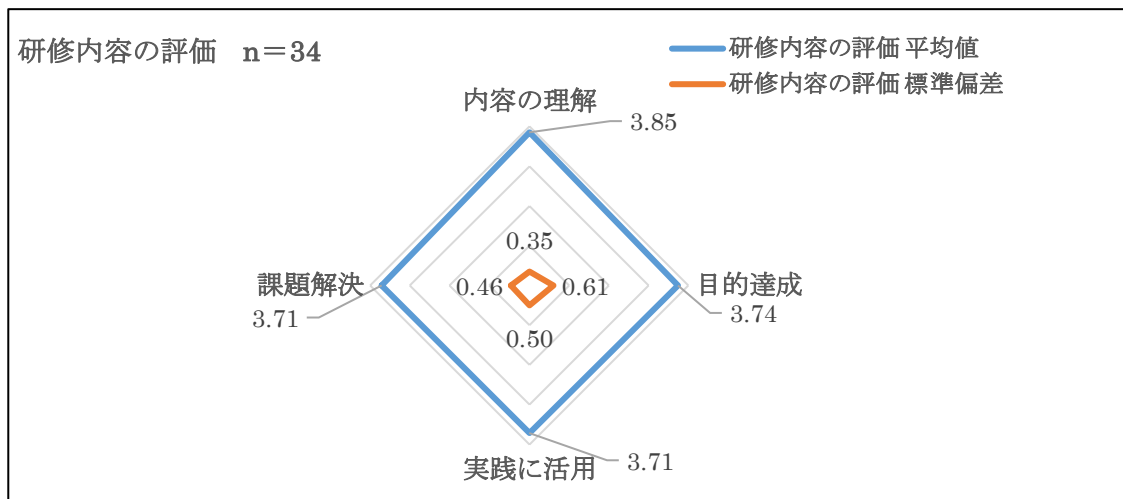
### 4) 今後の活動に活用できますか



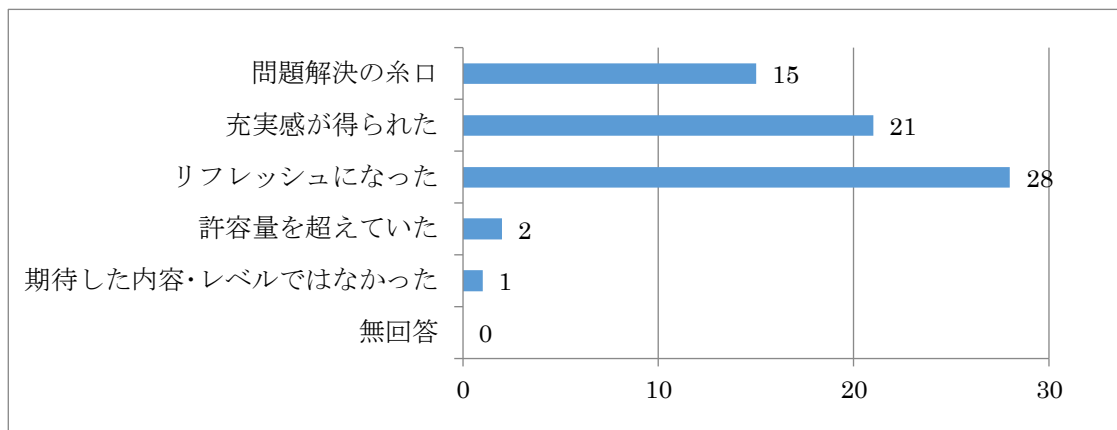
### 5) 課題解決の方向性が明確になったか



## 6) 研修内容の評価



## 7) 研修の講義全体を通じた感想（複数回答）



## 2. 感想

- ・これまでの経験を振り返ることができた。
- ・他施設の方と交流する機会がないためリフレッシュになった。
- ・これからの看護に活かしたいと思った。

## 3. 研修担当者コメント

グループワークでは、なかなか発言できない人がいたが、看護師職能委員がゆっくり話しかけ、傾聴しながら発言を促しており、適度なタイミングで新人看護師の緊張をほぐしていた。

問題解決には到らなくても、同じ思いを共有し、「参加して良かった」と感じた研修生が多く、研修の目的を達していると思われる。

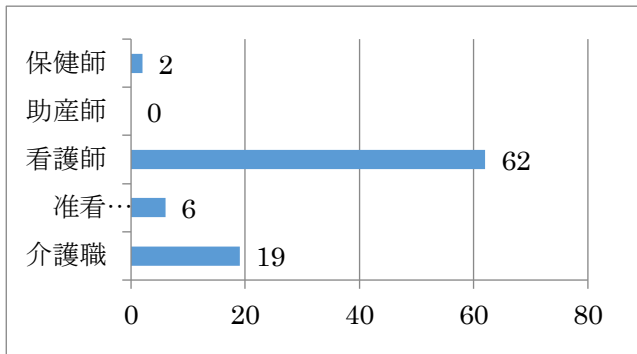
グループワークが座談会にならないように、ファシリテーターの役割は大きく、その役割を担うために看護師職能委員は、研修生の体験談を共有し、共感を表出できるような関わりが必要であると思われた。

次年度も、新人看護師がリフレッシュできモチベーションにつながるような交流会を開催する。

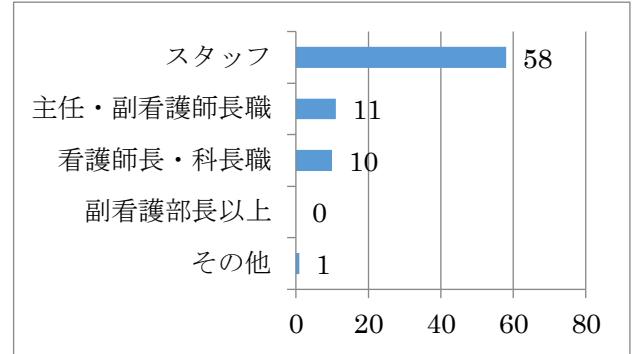
研修名	<b>2)医療・介護・福祉施設職員研修</b> <b>(1) 感染管理の基本</b> <b>(2) 高齢者の摂食嚥下</b> <b>(3) 高齢者の薬に関する基礎知識</b> <b>(4) ACP(人生会議)</b>		
開催日時	(1) 令和5年7月31日(月) 13:30~16:30 (2) 令和5年10月10日(火) 13:30~16:30 (3) 令和5年11月18日(土) 9:30~12:30 (4) 令和5年11月24日(金) 13:30~16:30	時間 各3時間	定員 30名
受講者数	(1) 令和5年7月31日(月) 受講者数13名 (2) 令和5年10月10日(火) 受講者数21名 (3) 令和5年11月18日(土) 受講者数16名 (4) 令和5年11月24日(金) 受講者数39名 総受講者数:89名 (保健師2名 看護師62名 准看護師6名 介護職他19名)	会員9名・非会員4名	会員8名・非会員13名 会員10名・非会員6名 会員31名・非会員8名
ねらい	医療・介護・福祉施設で働く看護・介護職員が質の高いケアを提供するための能力を養う。		
講師	(1) 高知県立あき総合病院 感染管理認定看護師 川野上 理恵 (2) 高知県・高知市病院企業団立高知医療センター 摂食・嚥下障害認定看護師 岡村 かのこ 言語療法士 池 亜里沙 (3) ひつざん薬局 薬剤師 伊藤 悠人 (4) 高知赤十字病院 教育担当師長 急性・重症患者看護専門看護師 井上 和代		
内容	(1) 感染管理の基本を理解し自施設・家庭での感染予防に活かす (2) 嚥下機能を理解し、安全な食事支援方法を学ぶ (3) 高齢者の薬に関する基礎知識を学び、安全なケアにつなぐ (4) ACP(人生会議)について理解を深め、意思決定支援の方法を理解する	講義	

1. アンケート結果:総出席者 89名 アンケート回収数 82名 回収率 92%

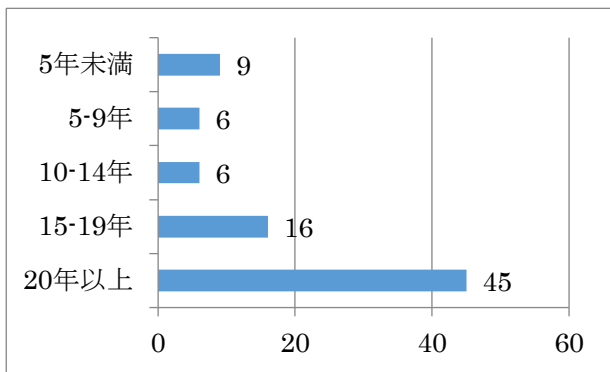
1)職名



2)職位

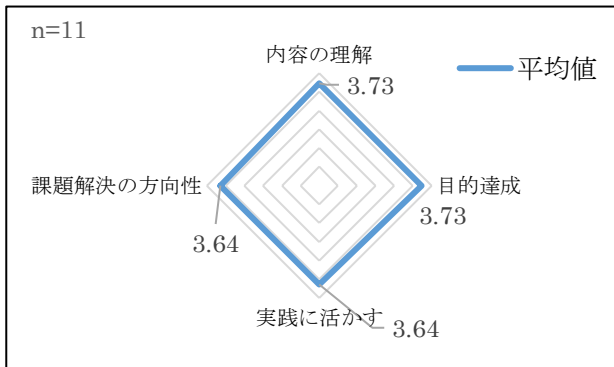


3)経験年数

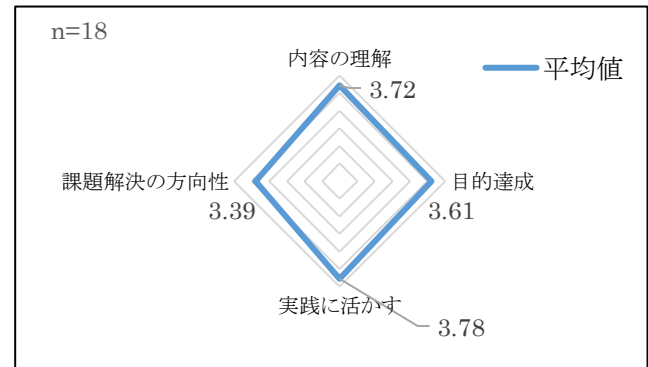


4)研修毎の評価

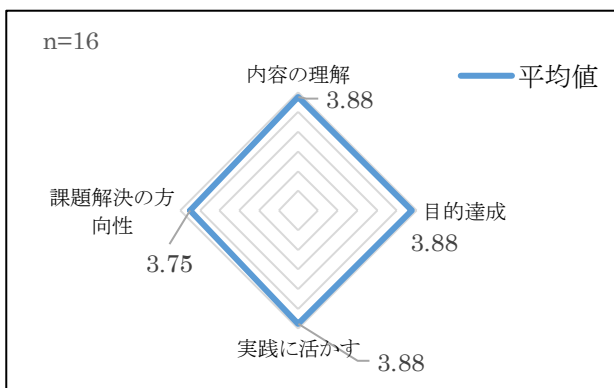
1)感染管理



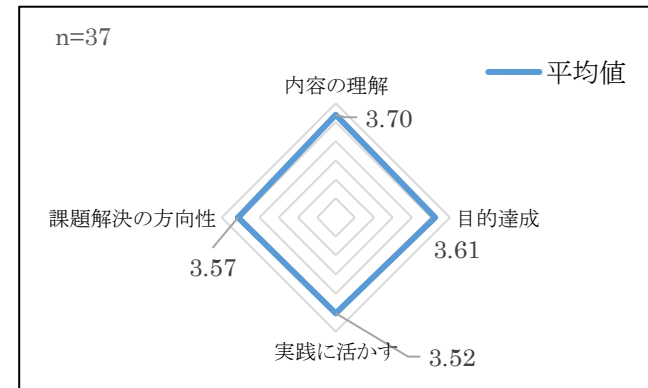
2)高齢者の摂食嚥下



3) 高齢者の薬に関する基礎知識



4)ACP (人生会議)



## 2. 研修の意見・感想(全研修アンケートからの抜粋)

- ・ あらためて感染管理の基本、標準予防策について学ぶことができました。
- ・ 普段から、今日学んだしっかりとした標準予防策を行い日々の業務に活かし、またスタッフへも伝えて行きたいと思いました。
- ・ 疑問に思っていた事がわかって良かったです。
- ・ 口腔ケアや摂食嚥下に取り組みはじめた事と、日頃の食事介助で試してみたいことなどあり勉強になりました。
- ・ 口腔体操の必要性が良くわかりました。
- ・ 深呼吸は呼吸リハビリやリラクゼーションで大切だと認識で取り入れていましたが、嚥下訓練としても有効なことが分かり、ご本人やご家族に説明してモチベーションを上げてもらえたらと思います。発声でのアセスメントも実施していきたいと思います。
- ・ 薬剤についての再認識ができました。今後の業務で役立ちそうです。
- ・ 飲み忘れの工夫の事例がとても参考になりました。
- ・ 坐薬の保管方法、水溶性と油性の同時使用方法を知る事ができ高齢者に服用介助するポイント等、学びが深まりました。
- ・ 元気な時から、もしもの場合について話し合うということにハードルの高さを感じていたのですが、本日の講義を聴いて日常のコミュニケーションの場を活用していこうと思いました。
- ・ 講義内容もちろん、他施設の状況も聞けて情報得ることができて参考になりました。
- ・ ACPは、とても難しいものとイメージしていましたが、今回の研修で構えずにできるのだと思いました。
- ・ ACPについて知識がなかったので講義を受けて学ぶことができました。

## 3. 研修担当者コメント

参加者全員が、実技や講義に非常に積極的に取り組んでおり、質問も多く研修を通じて現場で困っている事を解決したいという姿勢が感じられた。参加者同士が共通の問題を抱えている事が明確となり臨床に役立つ内容であった。

研修評価では、内容の理解、目的達成、実践への活用、課題の明確化にバラつきがあるが、意見・感想からは高評価が得られ、受講者のニーズに沿ったものであったと考える。

参加者数が、定員の40%~50%の研修があった。今後、広報の工夫を検討すると同時に、他施設での研修開催時期や内容が重複しないように計画する必要がある。